

さらに

アップデートする「アクションプラン」を創る (R7)

(3 年担任 高橋 沙希)

校内研修・マスプロとリンクさせ、「算数の授業改善」に特化して進めていく。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PDCA サイクルの計画 全学年共通の計画	R6 ※ R6 校内研のまとめ 公開研に向けて準備中!	R7 10/31 公開研に向けて準備中! R6. ① 算数把握 ・日常の算数力 ・NRTの分析 ② 校内研究 めざす子どもの姿 共通理解 ※ NRTの分析	小石研(全員) 公開研につなげる 授業改善・発表 ↓ (1) 成果と課題をまとめる 公開研の授業づくり	夏休み中に指導書づくり	10/31 公開研(全員) ↓ (2) 成果と課題をまとめる 子どもたちにかた力 変革につなげる	校内研のふりかえり ① 変換のことこ こは、デモ ② 実践例をまとめる ③ めざす子どもの姿の 達成度など	次年度へつなげる						
PDCA サイクルを機能させるために、 自分ができそうなことは・・・ ① どこを ② どのように 具体的な手立てを!	5月の時点で 自身と児童について分析 ↓ 強み・課題を明確に ↓ 授業改善へ ↓ さあ、アクションプランを!	学級の強みは! ① 算数の学習に対し、意欲的に取り組む。 ② 分からないところを「分からない」と言い、質問できる。 ③ 教える雰囲気がある。	学級の課題は・・・ ▲ 個人差が大きい。 ▲ 文章読解が苦手な児童が多い。 ▲ 自分の考えに自信がなく、発表に消極的な児童が多い。	課題を解決するための授業改善 ※ 問題場面を図や絵で表し、動を取り入れる。 ※ 「できた・わかった」を積み重ねて、自信につなげる。	見方・考え方 見方 単純化 一般化 同義・明瞭 類推 帰納 演繹 統合 発展 日常生活 子ども向けの表現 ～に注目する(2, 3, 4年) ～に注目する(5, 6年) かんたんな場合で考える いつでもいえるか考える わかりやすく話す 同じように考える ききかえを促す わかっていないことをもとに考える 同じところを見つけてまとめる 広げて考える 生活にいかす								
課題解決のため授業改善 (授業研で提案したいこと・日常の取り組みなど) ※ 日常的に学習のあゆみとか見えるように掲示を工夫する。 ※ 生活に近づけて算数を学ばせられるようにする。 ① 単元のゴールを子どもにもわかる言葉で明確化することで、学習の具通いをもつことができた。 ② 生活に身近なものを教材として扱うことで、子どもにもより興味・関心が高まり、集中して取り組むことができた。 △ 効果的な提示が課題点。 後期には・・・ ① 単元計画を子どもたちにも分かるように掲示等する。 ② 問題場面をイメージ、正しく理解するために、絵や図を使って書き表せるようにする。 ③ 子どもたちが算数用語を使うよう働きかける。													
取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (8月)				取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (12月)				取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (年間反省)					
45分の学習の具通いが立てられるように、本時のゴールを伝えることを続ける。ゴールがあることで、より意欲的に取り組むことができた。学習課題に身近なものを扱ったことで、「やってみよう」という子どもの意欲を引き出すことができた。より深い学びにつながった。自分の考えを、言葉で伝えることを意識して、交流・共有の時間をより有効的に使った。													